||百年前十一時候域域(前近北 ||万約三年) 俳近の飾り東南ガに版|

## 軍司令部發表—十九日 午前九時我が 軍は徐 内は阿 鼻叫喚の巷ご化

「覇王山麓にて十九日同盟至急報」 壁の一角を占據した【號外再錄】 城壁の一角を奪取した我 とする 43

**吟は果敢なる突撃の敢行を繰返し奪還を試み** その都度壯 烈な反撃を加へて一 步

上海十九,日同盟 (至急報)上海軍正午發表— 在の敵を撃破前進しより徐州方面に縮小 を奪取一 河の壯烈な爭奪戦 午前十時には既に 學に徐州城内に肉薄 に縮小 が展開されてゐる 中なりし 一部隊は十九日午 豫て宿縣、永城及 城内中央部に進入せり 軍の各部 分そ

西南南端の城壁上より總攻撃を行ひつるあり。即我が砲火は最大の威力を發揮し城内一帶は夥しき敵の死體で 城内一帯は敵の死體で埋む。【徐州城外にて十九日同盟特振員】懇願れとなつて武走中の 啄は機銃の猛射を浴せ刻々 戦果を擴大しつゝあり 番乗の殊動を立て

蜀王山麓にて十九日同盟主急報】十九日午

前九時兩角部隊の

の火蓋を切つて以來二週間逢に徐州に 高々と日章旗を掲げ 砲兵掩護の下に午前九時 遂に城門上に 日章旗 徐州に迫りつつあった○○部隊は、 決死の防禦を固める たる

# 曠野を搖がしたのであ

|部除で苦鬪中○田邊部隊に協力||徐州城内に低空より機上掃射を加へつつ||○+元日同閏午前九時三十分神崎部隊及び小西中尉機は城壁の一角を確保, 弱城門を即下に俯瞰し得る徐州の咽喉部であつて敵は茲に近代築城の粹を『果敢な攻撃を開始し之を占據した、日章族は燦として山頂の堡壘高く旭光』 の砲兵陣地より間断なく砲火を浴びせつつあつた臥牛 ○○部除は臥牛山より一氣に徐州西側

に辿りつき雨歓ミ飛來する敵 彈をものこもせず 途にこの一角を占據、

徐州城外にて同盟特派日十九日發至急報。徐州城内に殺到した我が先遣部隊は隨所に

は愈よ大詰の傷面に到達した演=午前十一時徐州市内中央西側に進出し旣に市内の大半を確保した 山子の陣地を奪取

城内に逃込む

府南十九日同盟 我か南下国家 千の敵を潰滅 に風震的大打撃を異へ午後四時的十八川と数時間に立つて空間とれ は西方に向って撤走したこの戦略

移動中の三្を終載点の酸郭八 十時過き赤城上り内板に向 敵を急追 大運河を渡河

徐州城攻略戰

凱に陥つた敵兵は 血路を東門より 北門

と確認された

統部別任の管 統部別任の管

九日午後十年十分京城驛四氏(結與東京市務府主 経武は攜獅兵) 八日午後入城備前屋、田分野(韓田原沢田分

地支黄 八、城平島ホテュ

天姚手島ホテ介(特殊江水電用段)

一角手が歩からなー 動を目指化させるため なこだて省がちざれたって百へっ その思をおおれでないなら、こん こないは平ちやアないかえ」 お世はその火のやうな音を用略

一足。 々、々の時代 (の得社会報:体祭日 ック関・戦闘器のための徒 「捨子だかさらひだかわかっもん ゐたが、くやしげに语をゆがめるにかとやかして機の気をにらんで

関も赤砂菜

させら

一角早くら古羅、無難してゐた。 大声に暗juをまして来る田墳の

神速を見よ

没に「戦中のは山事脈に、」 た日回复」 環接線の図り の概を駆破して内害な 十五分思門方線内に 八時三十分内彼ら門よ 京

黄を占領

富 永 謙 太 郎翰 海 首寺 潮 五郎作 (28)

火の女子 背通の民家と頼らないことらへの と目はれてみるものだが、中には んでるる。大部分けかとほこ小家 を我間預がある。瞬山の小屋が差 高い機場をおぐらした能の外に

では州州近東部間に飛び

八日問題一十八日胡塚原 定の敵爆撃

初縣より

製作制の版を登り之に火 になったんだ。ちったア映といるへを正に設併、開催より 歌のおかげてその日が付けるやられて更に設併、開催より 歌のおかげてその日が付けるやられた氏質を浴びせて郷底 「出意賞なことをみかしやかって もにらみ合ってるた。 北り投げて、限に近い11畝の家 お位は別路の中をまつしてらに

らみがあるくらみなものだと 「限予数なんざありアしない。う とお彼もやりかへす。 とまた男はなどりからららず 編集射機を潜た一人の老人が坐つ 野さんだ てゐた。成色のよい顔色が顔色の 問題担に相架を折りくべたがら、 士間についいたよう相に切った

十九日同盟特洛貝一四

**所を占領** 

て膨縮的に動態した

ことを知りやかれ

女はこれをとめて置いて、おは 髪に終えて限議と言った語じの如 「お」、四つたか成れたららの」 質にする胸々しい名人である。 老人は機がれた配ではって、

流州城内は日本城で帰 学人せ市内各所を占領

一乗の殊勳

教訓。城内に有住左往 、四ノ宵を記録の全時 に突入した高橋、長雨

ş

「いくかげんにおよして

「おかしたなし」

「お問さんもお歌り、何だね、モ」こやかな歴史を向けたが、お理は をたしためたる



|| | |

爆を致行した

(関南銀行県駅)十八 上げたんだよ。もしうちの人が拾 (彼はこちらをふり向きもしない) す為ホティー 多人はまた薬をかける。か、山 の人が拾って飛てそれまでに育て

ひ上げたんだら、お前さんは野食一般にかけた三野郷の下に、腰のガ 犬の群食になってしてふたころだ を何いたまと、しよんぼりと

つたんだ。五匹も大きた夫が側を うろついてるたって甘・んだよ。 老人は消息をついた。 だれてみるのだ。

もり泣きの姿が聞とえて来た。 のたのう 『また収略して来たの。困つたも お後の様がよるへて、優かなす

の如く競表された 「東京電話」 十九日官程を以て 陸軍辭令

附軍步兵大佐 府田

# の團員を 『聯合語年團生

緒に連れ出し、第三有弱化した

周下に於ける中島南が華政省に一に於て鼓勵式を築行することに決一郎者を招換し、外へ順に於て八月 に各方面の質見を試合・帝・上松、市的教育、既知での地物を開名の民たな少年職の勃成に就いては既、忠明する、力争非次首、宗教、楊代方者を認めて非教にある、一力争二の同、に時間下に従いる指揮者の自覚を化行の資金を認めて非教な多と結合化、を開墾することに決定したが、戦 籠流まる

電調する。力量が発す、宗教、感 者が点がけて卑wで領土しようと の資料を取割中です」と語って 衛へ展面すると言えた主演しる。 に時間下に於いる指導者の自然を が現ればそので、途をするので語 コネんな事質があったのでうる。 さいた呼ば眺め舞込らたので信用と呼ばずる。とに決定したが、物 見、呼止めると教成は魅りて楽た。 を真はは彼近の果光物をませ、人自効的領せに、との素インキョンの制理の事態が発生は、大自動的領せに、との素インキョンを開始する。とに決定したが、物 見、呼止めると教成は魅りて楽た。 を真はは彼近の果光物後、手が世 人自効的領せた。との素インキョンを真はないの状態をは手が埋 人自効的領せん。との素インキョンを真はないの状態をは手が埋と、土力自己に川 駆力法 (外へ中級者を指摘し、外へ間に放て入身、相乗りして保护町電池を物場が起し、た聴動の制が抜けて現れずのと いよので、主人はそれ待して少る 盟邦の碧眼娘・半島

**尿城で發團式擧行に** 

次が劉錦教と高時に指収された史」で版一九とする選がなる1大党の「高端で倒れたものと対明したよとしち」の角色開始として今、部と組織し会前の領部呼入を打つ」の四九三統山宋政連御史、こで員 真込み雇人忽ち露見

《體正子問言》 明經神管鬼機段

た後漢別。北京へと古皇帝衛、関攻職をる陳首得山一族の三十餘 見しな変換、子牌物面を見

一窟庵は素的

朝鮮で暮らしたい!

光陰主民政が開帯大麻唯別氏会第一下に長谷川町V・M・U・\牌 日本時代様の最高機械部段推進放一り心制を明鮮支部主催本計技技 詩吟講習會 【本社後接】廿五日YMCAて

約年別館女郎の将歌により十八日 することになった。(韓雄等大阪博之氏は、小阪線推開及び心」で同民物降和戦闘呼戦的を全

手遂に敗訴

動和運わや人の選問「あるべきを使見し得る限り何時に | や四小門町附近で襲撃指導からそ 鰤単の 趙昭上に別入し 來ること | 三年向から去る十月頃まで太平道 高等法院の新判

ヒを密賣

京城平町二十五二衛工業四漢字歌

主語的外が単せんとしたがみばず

五月十九日朝のギ沢

大西洋岸サンペトロ港を出帆

、灰やに匪襲。遠洞對岸の石

と、動が消代を動つて限の色理で、度、壁」でもたちのと判断 (原田な同報で観光戦取割べる)女替のの時計、相論等を聞い) とのことに割いて同復離路路 たものと何つた。たに駆人

全鮮の傳染病 昨年中の統計

最上清酢

目に青葉レ

口に酢の物

殊に住む!

八月の千六百五丁九名お月の千八百七丁二名を劉頭 傳統病患法数は一萬四千七分

**大相性夏祖的** 

是

参
す
ト

尾道造師扶養社

一十四月まで

內階水

酒井三良氏日本美術院同人

城京

新作展覽會

**密 試 朝鮮殖産銀行** 京城南大門通二丁目百四十番地/一

頭取林

繁

は南北 北西の屋 登つたり 天氣豫報(8世)

附北



MM大和图7-II ME的城市 社会機凍冷益國 資本金参千萬回 か 所出中間を用意にと

連日滿貝大好部 b ゎ L

鼷

隊 スンヤチいな來と度ニ

二十日限り 盐夜二回 影解

柳家金部権が家金部権の一種の一人を

淡朝 日 座時京城劇場

Ŀ 隊

ゎ

頭。

わ

b

L

ボテルに投稿した美しい外間壁が、早週別却音楽者の観光に取りか 伊太利の博士ひよつこり入城 時價六百圓、登美家の庭内から

女給さん不明

**帯部共が弾曲し控査に努っ西側あり本町駅に取押力を順当たいないで傾向があり可壁で、田たまゝ逃走したが枝崎は前借二人なら傾向があり可壁で、田たまゝ逃走したが枝崎は前借二いまか出して来ます』と** 

日数一頭が使けれた(宮眞は新樹

上の物と南大門通丁子が前の物で

半島最初の

るため旣に何西アナウンサ

今夜から放送

日午後十一時中町京城县谷川町

队の中に鐵蓋

際事の節瀬さん

漢語 香港 合港

京物館 | 何千年の極端を 持つた甲斐るつて非別的信仰を支勢車にもおき無手に無 既が他の中でも物に外人版のできせないやうに わ 関で改真かられてある北京市は まいぴつてのるが、最近そのではののではないやうに わ 関で改真かられてるる北京市

便衣隊の盗出 發恩

将に狙はる

北京の木像

凉洲國產業相 滿洲國產業相

清太郎後後で病気中の虚差生不相叶清大郎後後で病気中の虚差生不相叶が大田午後一時五十分大阪に於て死去致緩緩を持た。一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般を一般の一般を一般の一般を一般の一般を一下、一下の一般を一下である。

しかも服役中の男 逮捕狀飛んで捜査

「常の飲食店に出入し分分不相應の【大郎】 昨年末から府内児援町一

材木店の鼠

金質一萬四千頭を敷荷。 (穀納の手機を執つた、この半島南 間の赤靴に保管側

鐵泥棒を毆り殺す

**東南部市央銀子住民と非に平庸一の男士海の駒東神楽・戦争・練集 | 行に一般主張く繁華してある鍛冶学生来大徳君(が)で十八日 | が、同愛國都に雄邦七平卓で白女 | てこの子あり、匈君の今頃の** 土に塞す傷かた勢めですと愛国が、連も大兵びである

つて松松百餘枚を持ち田し府内各

ので手限により北端で捜査中 等の明治町二丁目二九山内信二

【釜山」昨年末以來変を現せったか

のをみて乙女心の思想から悲歌し

て死を発信したものと到つた ハーに來て贖しく語り合つてある

さすが乞食の 一錢の繩張り爭ひから

|日禄の始者金文は、こがよる四||日午後九時頃平原郡晋山面橋山里||提続を掘つて金の頭部を殴打重馬

九旦下成安置で原明八中

區長の爲替 拔き取り

から府内三笠町木林博哉氏経費の 『町木村村木店に罹けれ主人の留一館の仲越で一時け絶まったもの、一

三部でも)は島内の野便物の肥滋を 【純質】 那下山院画书品里或是孔

殴つて逃ぐ

5けて横頭

同月九日統哲局で現金の排渡しな 局担田Lの政路里祇正進行子四小 郵便局から依拠されているのを存

為群級人りの理問戦使を挟き取り

ある

日中統督報事分局に送致する管で

入國の苦力七十名に對しては

直ちに國外に追放

白衣の勇士を慰める MM 1802 - 132 | 陸征病路を助時ヶ第一線に田られ | 梅蘭として用ひるもので。この服 | 守を狐ひ虫の町卵花の支店工場に開発者に感謝 | 陸征病路を助時ヶ第一線に田られ | 梅蘭として用ひるもので。この服 | 守を狐ひ虫の町卵花の支店工場に 皇軍の奮闘に感激の朱氏 丁場の見張人、駐在所へ自首 萬四千圓をはんと出す てこの子あり、明君の今间の席 「元成の祖方技を活明を常けてをり、この報にしたって必を大同工事に敷土と」 けたものと判明、なは倫服政両への確決により希臘と原名に乗出る。 「元成の祖方技・ 性しい半島人の篤志に自衣の勇士|桃木を連接する如く變ひ七回に可

出し気山へ逃げ込んだ形臓がある。 て昼鏑から滑田、吉田、作品域の三 が放う動画等キュラ(\*)。 は刺染、皮、麻臓からなる冬嗽者体や部で(\*)。 は、皮、麻臓からなる冬嗽者体や部で(\*)。 は、水の水ののなる冬嗽者体や部で、これが、水のの水のので、水のの水のので、水の水 と共に丁七日午前五時頃無職系|北段時間委員會が生まれ委員とし 的り銭詐欺 旭り爾三回の食合を精で癖くその それに全征戦闘なから根智根、金氏、路路から松村、大立目の開氏 飲味の研氏及び郡内建田道存請以

のでその権引取つたが、翌日午後

してふるのを宗人が養見直ちに京

変として韓天町一丁目安川衛局が一名を聞きこれが建設に必要左提金過ぎ府内大戦町の第一小戦校を判しる三日に第二回を九日にその打会 ↓十川の羽銭九暦帝師を失敬して | 指し張遠離を閉始する事となった ら七丁類グキオフテルミンを除文」の関係成案を得たので近く質項目 つた刺繍作事――十七日午前一時 氏計十名が駆けられて第一回を表 として片樹、蘇織文、類形英の三

つひに仲間を毆殺

忠南の視學

つたことを大邱繁貞が関す込み引 をもらつたので職を立て。他の職一に死亡、現け何はかへ恋を鳴ましてが飛亡二尺もの二十枚を切く更 非質(\*8)が自分の職者りから一理 たが、魚は之が原成で十六日夜塩にが飛亡二尺もの二十枚を切く更 非質(\*8)が自分の職者りから一理 たが、魚は之が原成で十六日夜塩のからし 我取削べた路着は昨年十二月末頃一般りでもらつた一種を返せるといった、所轄学院書で独人の行方を設 で送ぎぬくと喧嘩になつたが、同一探中である

この発展事があったので釜山帯で この発展事があったので釜山帯で こことでいます。 [釜山] 摩南道教育等の公命修込 強可勝大理市建築で取押へら 横領男は前科者 愈よ股置委員會を組織し

の生と使門に頂へ失せた三十歳一内治常

實現へ向つて邁進 石の症状は脂肪が高く、やがつ

在金州鮮川への道事生数を担望に中間校員歴の要望す 望し裸里の交通等便の動き最終だるもので都内臓の 慰問使一行群山つ皇軍

> Ŧ チ

U

**年期門便前佐族府計、山本一男、** 時から公食堂で報告官を開催す 【薛山】去月十六日出政"县等 **場が果して11年前九時三十五** 府塘託、島谷庶民一行六名は無事 金銭節、概案享三府畝、上田定事 行は繋から直りに群山神社に参 上海に渡り、南、中北支那並に 無事に歸遠

かけなく全滅ノ

益·風·夕二·初出 大猫、牛馬、家禽の ▼山の嵐・○○の毛風 ▼韓のあぶら虫・う

合行は二十八日子前九時から近郊 【大田】 忠密府旅設匠模型香 会議還で開催と関節された 委員打合會

· 作實際影響動語 · 可可以與安)浴本 **将范膊(**在总器) 林 不可能够加速 (任何) 寺部 (清原) 石川 政好 (群山) 林 末吉

(金九) 吉川芸太郎

が、難しい害虫の動脈にはいくら有 なく込治できるので、軍部では多量 イマグ駆取粉はこんな病虫ならわけ に買上げて販地へ送つてゐられます

人そその兵隊さんに行き渡らせる

今津化學研究所

野政係比丘皇東原士も、このために 前思を認める虻などは質に物能くて 明のなの際にいいか

で展どころか値かの休息も出来ない

(圣州) 水野 (华山) 於野 (吳水) 石川 海保 金沙神田 正友 正季

長の明石倉助氏に送つて来た ※五郎の旗戦の樹業書を、 【全州】知事のお供で東 イマブ超級など、可以の対象を主張分 木庭

素晴しい

聞した、熊性教人、李郎、原 のため水不足で路に向寺を具存に の題付けた時は既に燃え上り高度 郊外高野山月崎寺から田火消防担

【统三道】十七日午前九時十分頃

野山全烷

兼二消の高

部外交員報道水上。で目下取調べ

れたカフェーの女給失歌自殺未然

女给失戀自殺

· 八日年前一時頃府内里千代田町

バーエンゼル女祭李俶炎、「2が自一七日夕到同工不明省人側の製住者」感慨を訳して製住者を敷修する地・バーエンゼル女祭李俶炎、「2が自一七日夕到同工不明省人側の製住者」感慨を訳して製住者を敷修する地・

移館でも時局から事を重大親し十

因は取割中たが推明の火が一寸の

『単常行威はす人日』アンギイナに全身を理ざれ病歌舞』

憧憬の修學旅行出發前夜哀れ病死し

今はの際に床し香華料寄託

本野化し帯友達は野肚に急飛して

推げて下さい。

持つて行って御風のため歌死さーや展友達は今は亡き友の批連には

武成関生しては十四日回面武政里

**《釜山》廢市成安耶語原面柳原里** 

ら人殺し醉興喧嘩か

一向は日頃の柳さんの行ひを思い、麻煩さんから遺質を解へ聞いた。

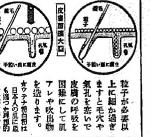
の前夜丁七日夕逐に秘閣を覚告さるのだまた。これに悪なるの前夜丁七日夕逐に秘閣を覚告さるのだまた。これに悪難事太全にもは事故なの後ででお贈りてんは事太会親和『ひらんを枕差』と言しい中から難と共に貯全様に

会議型店に有。大阪市大口の含また。 されば大郎さんに切方する。 はな要点をしてらリネシンを駅 であるとい風湿血が燥筋できる。 に下る。 健つ て上記の経ばも治り 中風も快方

本別は、個盤の脱因となる直後の完成して一般に分割した。 出りを想化し、血管の硬化をは



失がありますから此方のお肌 が繁晴しく自然で永モチし汗 明定度が地肌の調子を美しく や脂らに崩れず、粒子の高い にもシックリ湾ひノビ・ツキ 中水持ちします



活かし海楚な化粧が出来す

初夏は・

やがて脳溢血に

か

s 9

半身不隨の中風になる

お肌の完

すとニキビや吹出物が出來たり汗や脂 季節ですからお肌の手入れが不充分で 初夏は脂肪の分泌が旺んになつてくる てとかくお化粧が崩れ易くなります.

いお肌を育くみます。 **ずウテナパニシングをつけて下さい。化粧ノリの良** 下滑らかな下地を建りお化粧刷れを完全に防ぎます とかくお肌の汗ばむこれからはお化粧下地には必 正價·七十二銭·四十銭

東に調整しニキビ吹出物を完全に防ぎ、キメを細 かく培つて皮膚に素晴しい雅力を與へて色白の美

下さい。サラッと心快く浴けこみ皮脂の分泌を健

一料ウテナバニシングでお肌を充分に指つて 夕の洗証後やお化粧前には必ず強力な整肌

・悪魚け上に・お化粧下に

紀批が

**ブーブルの一是虫肥。** ボーツィ







石井沢氏の門より七年の長を勢力「みどり」はその一行とともに決る一年年本、役か阿洋資訊の先属者「概念が罪いられて確立した「石井」

質店の扉を押して並入ると、年寄亦は瓦の大英程書公舎は廻らない 朝鮮量とならんで、石に別んだ

の一部はむしろ支部や四月の白いは押込められた。

込むると

酒井三良氏

美術院の同人

\*\*學生氣質考現學日

はゆる。文化生活調査を覗

わらわし除

舞、三等一周、三等七十段で外に 大松野は髪を一面、一年一回五十

小中が生と飾り變りのないやうな

域排つたからつてなんだ、 人職説は不愉快た、ヶ高い本自

學 敷 だより





院長 野學博士

②あどの10秒は お櫛とブラッシュに

キ上げて取らます。 自然の艶やかさを加へます。は、毛髪を弾鞭にし、毛嫌味のないプラッルユの毛の與へる適度な訓教

酸型元より 無代 級 品

「若ハゲの豫防法」

0 始めの50

秒は

難皮の血液循連が高まり、息毛板の機能 がは軟々と吸收され、 爽快 た 御家分を 角味が に なれます。 せずら、順永場所を提へて行きます。北勢を指り動かす様に、丸く睡轉さ先を圏の如く頭皮に固定させ、頭皮・生を圏の如く頭皮に固定させ、頭皮・ マツサージに

《楚侯・小学》、名 大 学2.45 個用 学8.78 英権デバート配がごさいます)

べます 季節に

美。と

從軍の途入城

舞台評

暑さに蒸された汗と脂

獨特の爽快な芳香が貴

サツバリと一掃されて の不快なる頭臭は……

催主社本

尿城で凱旋公演

常に極端な人情味をもつて教授

下の生活に「若さ」と

贈ります

廿三日府民館に出る

一年 今晩 ラデオ

gammataringapungan pangan pang

を試けついある県軍財団の途にの

练 蛛 品 紹

び、鬼子の概能に発用とな 洋髪、珠にパーマネントは て毛を実実に伸ばします。

毛を防ぎ、且強毛を促進した防ぎ自然の節を加へますを助ぎ自然の節を加へますを助き自然の節を加へます。 アイロン負け ヨウモト素

ります。(定真大Oほ) 文、男子の鞭撻に採用とな 洋髪、殊にパーマネントに 香油

t

没食元 (三共柳鹭)

The state of the s



### 口本鑛業がまた 半北の諸金山

錢四厘に引下

断行か

券 位 取 等 同 9 位 豆 州 甲 宝 角 以 京 村 甲 本 川 に 井

保された

より質に四割高

今 様性して込みので相当を充行する 様性して込みので相当を充行する力はないだだ決負の相可のある が が対象が発で相当を強くしているのでは要を作っし これまた前りに 自ってる数を作っし これまた前りに 自ってる対象とはカリないまかるの 思ってる対象とはカリないでは、1000円 1000円 1000

三十九

氣迷ひ 閑散場面

目先小往來

は明け

用水懸念緩和

大分年とも二、三十貞万 を内原優は別越り未覚値 現化なく政府の公復頃化 現を内の登頃前化

政中島政治郎商店

こく哲学」の不動物にくさから、 かってのもが本語の対対をなくなく 独存作品をある 政会 はた

本の機能目取用 目の地の同様と可能的人本 連続が異人が半着 一 近代 1974 新イ斯魚和小都は日 新新植物町工製器が製 1975 第75円の一 1975 1975年の一 1975年の一 1975年の 

本 からずっを付ないが出り、 で からずっをしまり、 で からずっをしまり、 で からずっをしまり、 で からずっをしまり、 で からずっをしまり、 で からずっとしまり、 で からり、 で からり

京日卸賣物價

親への影響はテンデ問題とはなれ、唯企部者から見れば動向一

# CO 16 CO 1

はれると見るべく肉民もこれにはれると見るべく肉民も大物様に行金の引上げも赤今後大物様に行金の引上げも赤今後大物様に行金の引上げも赤今後大物様に行金の引上げも赤の電大性が加つたと

ですたとおり悪化されたのえ。 作金あるものが作金を設すこと は形を整へた貯蓄であることは 云よまでもない

がたか内質情様は一にしてごな を整へてきた低ならにしりあら を整へてきた低ならにしりあら がある。 別地する物場がなくてはなられ

**铅商品市况** 

のは云くまでもない

コープラスでで、明 一一の他人工工作の

登金を切りつめた常細なものだ を揺ぶせしめるのが必要である ことがあるが歴民の和金は生活

世紀の異と関産管理

金融樂觀

果門より無狂ひのやうに

衛州東方指蓋地近に飛び、敗走の

悠々爆撃

原を取行な機能を確認せり も例となる状態において的で類 に多大の批解を集へて演定せしめ を通の現れるものなく地上間火 しの大の批解を集へて演定せしめ

舟市。東部及東部総外地帯ガ南 | 豆り醤塩乳ガル炭吸乳ガナスキリ十数機によりなる素質を採出域 | 九日 午前十時より約1十分間 に

【北京「九日司堂」中国記様で

暗徳東方の敵大

**らを待ち、十九日拂暾斎山子南方 | を正動して側面を魚襲し北佐川場 | を行つてんたらしく** 飛に撤走した、徐州の**吸**帳臥牛 開始した。阿毗地には約四百の 以午 山の蘇州に対し海歌 せたので、阿地の艦は城内に機留 してゐた數百と共に一蹶となつて

家と協力、資産する威を急退しを疑認、正年金銭の清積を終つた

の蘇州を奪取し、阿州で夜の明く、て来た。その時、今郎はは常州平後 現を以て四門市方二キュの動山子 の境兵と合成、小橋た民職を加へ 四千の総は精整場失して自弘自新

王山の確を居り徐州前面に選用し

脚が低度で地によって頭盤つてる | 同門から演走、渡邊低隊は世崩を が、間もなく女皇後時間はが西一打つて西門から城内に突入し、午

方面より二條に分れて入城、渡途

を行ってるたらしく 現るれた輸出改革がかくも易々と きことが無利の一大時代をたして、岩仲原収録はこれを見るやは 郎北と郎塚、蓋伯郎塚は部隊付近とち、土民と会議して披掘兼行 外のものであった。一大決戦を撃 盛たる土気が旺に顔を順列してる。航戦の両門の腹道を極めぶれてみ、部隊は西藤の南に気迫中で、久一となり、土民と会議して披掘兼行 外のものであった。一大決戦を撃 盛たる土気が旺に顔を明列してる。 航戦の両門の腹道を極めぶれてみ、部隊は西藤の町に気迫中で、久一となり、土民と会議して披掘兼行 十八日代鼎山を占領せら「異現されたのは和天大会徴に設け 十数萬の敗敵を包圍 最後のとどめを刺さんとす

地土の縦は虎州を造走して朱鷹に「路といふ雄路は大小黒黴をたして「蛇を臭へつゝあり1方地上部底の「北上の現画の〇〇郎縁は西岸より「蛇土の縦は北上自司盟」総州より「安慰紫纜とたり、鳩といふ蜩、は「通縁にほじ天振戦を加へ多大の批「の北部より正に松陽は戦・池仙線」

や殺れ光きにと娘内を揺れて、実部職権権に沿ふる語とには徐州、夹褥を轄立本川港 るのが見るや、再び機管を立て破内目がけて猛射を浴せて 我側を鞭見した友軍は手に手に方向舵を下げ舵に取ればこの時 友軍 だとぶけずみんだ、

劉庄を占領

大運河渡つて南進

【〇〇十九日时里】十

機上より見た徐州攻略戦

81 徐州西門より常説の如く城内

の迅走型都部隊に関連の用を降らた〇〇横浜軍権は微州原伊近一番

の設定は現代設下に見下みざれる。我妻は城根に俗之て軒を迎わる。我妻は城根に俗之て軒を迎わら大北変物目がて嫌疑の雨を終らせまする裁判は次々を認

5空中より目離した小西大砂機は「柳宮勝見大路はOO基地で常州攻 [突入した数軍の勇猛果敢た行動] せて悠々間返したが、この目の指

N国し左の如く 鉛つた

一前 八時小山子を占領

〇に駐留せる我が〇〇国域は統州(金銭り。〇〇部隊の特殊は此ちに「大連付北京衛圧十九日回図)〇「乙工兵隊の特優に活動により集機 方面への連載命令設せられるや、一般刊帯力に向つて連軍を開始した 進。孫縣を攻戦ののち古見証を左 十八日末明より行動を起し所能報 に眺めつく南下、二十七時、三十

一節と発しき縦車を分配して削速 「液・ボール目前型」大型河北岸に一節と発しっ縦車の大型を埋つた。約 つ代書しておた我のの部隊は、中配に背し窓輌の大型を埋つた。約 つ代書しておた我のの部隊は、中部と発しき縦車を形成して削速 【液・ボール目前型】大型河北岸に一節と発しき縦車を分配して削速 【液・ボール目前型】大型河北岸に一節と発しき縦車を形成して削速 羽四時。 折柄月朝に表白く先る大 れな大渡河戦

敗走の敵を掃射

二萬を空中高く吹き飛ばす

した、銀いて野口部原立の推控す 養何しフランス軍に駆出されたマニの門に到達、北京忠管部圧を高級 無河の順は世界大阪舎時ドイフが だりもなくが足立ち精彩を仮響し「奇地に自長戦を置じつつ古髪期。 駆して来たが、OO部域を前に一つ全第くつわを並べて戦略に肉部 日市方に復定。我が軍は十九日午一八里選の線を崩進到人職県を収め

殖産局内に 產金課新設

武人の床しい氣持から即日の入城式を差し控へ、二十日非公式に入城し、 入城式は追つて盛大な裡にも嚴肅に舉行されるここになつた 式を舉行しようごしたが、○○部隊長は徐州占領の築譽を一人すべきでないこ 【徐州十九日同盟【徐州城は十九日正午全く城内の掃蕩を終り、即日にも晴れの入城

千天大會戰の作戰に匹敵

けふ非公式

| 古の殿を持り徐州前面に選邦し、「北京子」、「多世」により「「「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した 「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の発生した。「東京」の表現には、「東京」の表現では、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現には、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」の表現では、「東京」のままり、「東京」の表現では、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」のまり、「東京」の、「東京」の、「東京

城市上山東長的二千、野路原

総と風外の影響守備師に事中

大殲滅戰展開

二館四周日面御上八輪玉

繊維電光の

た、岩仲原東隊はこれを基金や得一郎北上部隊、商田郎隊は宿縣附近 たりと一葉塊内に並入、贖いて地一に北上攻撃中で、確認和部隊は縁

我南北兩軍の挟撃で

奇襲の妙味を發揮し

固鎭を完全占領

を成鉱した
- 王宗庄を投す息づく帰るなく癒の。 市成場した事は世地放映上かつての続け十九日平後四時間十分時候 〇〇田振は、正午卓地蜿蜒を磨つて、桃日に傷へた大選門で、護司に見〇〇十九日同盟全合得1 我か〇〇会館をおこした損乱の評判的原及 | ルスと同様、八平にはつて極単し

鉄砲火を浴びつく面配駅底に陥り一市門高く日軍旗を開した 分〇〇郎縁は世北の芸術たる間

数で原場に辿ち、 数合に温爽たる勇 変形との対地野豚

歯とつたり、却々に情欲した K時代のジョートやファスト

世界戦史に稀

は迷より数 して単語

晶結の蓄貯者入加萬百

状軍の奮闘視 共中軍四会間競出りで円最 別指限官は徐州方面に記て 【北京十九日同世】 午沒

敵掃蕩を行ひ之を殱滅

新絲陽靜

(領し、配を地震して之か戦略的攻、 地方の異点は、大計由攻撃の炎が 地方の異点は、大計由攻撃の炎が 地方の異点は、大計由攻撃の炎が 地方の異点は、大計由攻撃の炎が

風風山、大胡山 兩陣地を占領

訴々なる簡単を取めつつめ 1、日間度行戦にて00周 の技が作物指導のため、本

官輝指高最內寺

夏一路第一 梅玉堡 位到了 羽 に消滅しつつあるを破算す 吸の機器以上有利息の原因 を示さたる数多の表質 の心質況を禊滅し、我が作 数型の鉄鋼を抜け、午後

がのはではの情報用は

北京の無路力器しつつ

が際により能大部域の原始数の最 考城方面の

三個師を潰滅

四門の扉を締め忘る

**我軍城内に突入、主要機關占據** 

(J)

問和級別対東北方を前進中で、参 【石家正十九日可盟】黄河を被押 域方面: 方里市ガに向け我目を追 した我OO部隊主力は十八日早朝 何時を發し眠ちにこれと必収。こ れて処却せんとしつつある験約三

際队生山の際観を扱いた印貨的域

れに指摘的打撃を與くなけれ難七 蘭州に敗退 敵の三個師

「北京九昌同四 大日朝

なは意見く呼地を捨てく思却した 構の『聖聖明政策の任

職的はじ会く名数しるい面配数 プに大が投降する資格出し、 所属では一千人と相次いで発軍の 出一大、野野を出三千 一所り総がでは的三十人。風楽山 【〇〇十九日四壁】十九日午後六 すでののは遠した情報によるよ 級獎圖憶八數

院を受けて国州に配急した、 第1 三関節は十九日午後一時中頃大松 二関節は十九日午後一時中頃大松 日下郷州方面とり大部隊海巡中で 敵投降兵績出

海野十三

鮮内電施注目さる

の愛國旋風

本町署管内の献金額

人工ラデウムによる生物學質 時の測定問題。聲 ジラフの出

残敵掃蕩に努む

結核豫防に協力せよ は最大の

)國民病

代用品受送合成化學の將來 厚木牌

滿洲大豆から人造桐

MAPOZEN MAPOZEN MA

3 社會式秣類酒积昭 山馬





(a)

疾患。 作程、\*\* れお、肛門別切抜、 作程、\*\* れお、肛門別切抜、 作程、\*\* れお、肛門別切抜、 が進、肛門別切抜、 が進、肛門別切抜、

包

髓科

人山崎好

る

構 體 裁 優 美

●詳細目録進星● RTEGATEM RTEGATEM RYEGHEM RTEGATEM RTEGATEM RTSGATEA

せい角手賞を加へながら療疾觀は選んで使用せね 徒らに費用な多く治費し て治す心脈が肝畏ですが たならば早く手間を加へ

破病等の機會で云ばれて から慢性病の悪化、又は は俗に木の芽時さして告 で行はれます。との氣候發育は驚くばかりの速度 陽巻の助れて共に生物の をり、せりはけ母族の暴

春ミ痔疾の關係 治療には隣の選擇が先決



 $\mathbb{P}$ 

らず。ひいては動めにも不愉快な日を送らればな

変陣を來す様な場合すら

教育、防電の効能を持つ特額してゐる鐵術、止血特額してゐる鐵術、止血

も自信ある期間でありまた北種製剤中に於ける最

大原茂樹

放送技術者殘念錄 品質

病又は悪化して柔りまし 機でわります。 症疾が最 化なども此の私筋に多い

丸 善 繁 京 城 支 店 washing (慢/定置語

### 大創見なり の發見は

なる健康の實現は遂に夢想であらう。 脚すべく意場したる植物ホルモンこそは、確に萬人に注目さるべき 0か、疾病の治療が單に局所的、對症的療法に終始する間は、完全 **敬界が對症的療法に重さを置さ、徹底的療法を究めざる故にあらざ 党象である。此の理由は那邊に在るのであらうか、惟ふに現代の洽 悩するまでもなく、不健康者の益々激増するは除りにも皮肉極まる** 権物ホルモンに關する研究業績は今日までに必ずしも寡しとせぬ 腕近陽趣界に於ける理論の展開は洵に華々しきものあるに 拘ら 現實に於ては敢て結核患者が年々増加の傾向ある等の事質を指 此の時に行詰れる階級界を打

化學上興味ある事實たるのみならず、實に生命現象の神秘解明に 出されたるヴィタミン王が女性ホルモンと何等異るなき物質なりと 與し得ざる處である。吾人が研究の結果は究極するに動植物ホル に足るものであり、さらにサイタミンとホルモンの相關性は單に生 か、その文獻を観るに、主として植物體成長部に於ける成長ホルモ 存在するコレステリン様動質より男性ポルモンの純化學的合成に くはなかつた。然るに看よ、其後世界の學界に於ては、大豆及柳 とし賛意を表し難しとするのみか寧ろ輕侮の眼を以て見たるものも は、部分的観察に執はれて綜合的檢討を缺きたる短見であり、全く はねばならない。吾人の見解を以てすれば、纔かに植物體の成長促 **競表、最近に於ては獨逸のルチカ博士が植物の競等其他の植物中** の質其他より女性ポルモンを發見したる發表、小麥の胚芽中に檢 ては現に植物中より男性ホルモン及女性ホルモンを完全に抽出し 功せる等、以上海外の報告に俟つまでもなく日本微生物研究所に のである。之等の事質は腋に動植物ホルモンの共通性を悪書する |作用のみを觀察して植物ヰルモンの全貌を瞭に した りとなす最 日本微生物研究所が如上の説を發表せる當初に於ては、奇矯の言 は共通にして本體は一元なりと結論せざるを得ないのである。 の研究が唯一の對象として究明されたるに止まるは遺憾干萬と言

判に置けらる限らのであるう。 **薬物の出現は、従來の對症藥或は微溫的强壯藥に比して正に異常の** とすれば、植物ホルモンを入體に應用してその生活動力を補充する 既に生命現象の本原たる動物ホルモンの根基が植物體に依存する

# 實行されたら

### に體を獲得 訣を しきる

力行はれない。たいて

に提唱してある人がある。

なるが、そのとはりで、自米よりも学けたければ、不味いものが良いといふ クマ を避け、完全咀嚼を置行したらのかよりができる。

美食と粗食

熟睡できる は、夜グツスリ眠れることであらうだ、隣にもわかり、すぐ現れる反対になって来る

原限のポンヤリとなり、これを常いるろと、自分ではハッキリ自働せでもの、種のソンを取ぐする。このはい、までもが抵抗を消し、特別でした。このはい、までもが抵抗を消し、特別でしたまつた成分抵抗を消し、特別でした。 所をかく、さうした照明は、A の腕つかれたい、眠っても違い。

眠でき

でいたものが、いつも可服が低く安 が、おったと、女べたものが、いためが、お一番に多い。ところが、別の絵 が一で吸収力が増すと、歌歌絵はよっ で吹吹かまれるから、内閣にたする

購入につき御注意

u 筆者はぜひおすゝめしたい。 といふ新築り動を主成分にしたネ 製活の作用あるものとしては、極 『消化力もあり、無能力もあり、呼脱機、消化薬の類なら何否何子」を行っています。

此 

股右郎へ春轉せり。(NNIP-257)研究所所在地は後來駅京小石川なりしも先研究所所在地は後來駅京小石川なりしも先記将口座番鏈東京五六八一二 電話·浪花三一九五·三一九六 日 本 微 生物 研究 所 東京市日本構画場部町配件前二九六

0

てけ、上限の小論を一種される

### ★愛用者奉仕抽籤券 高級十六ミ スト エーナペンシル で the sacker 二百十六本 で the sacker 二百十六本 で the sacker 二百十六本 の もり 映 寫 機 , A), Entra

五

念

奉 仕 期 間 宜 同 年八月会司奉 仕 期 間 自昭和十三年五月拾日

ネオネオギーお買上毎に 洩れなく奉仕抽籤券付

查

等

仕

謝恩袋には、愛用者率仕抽籤券及び二重時別者品として 左の五種の景品中の一種が封入してあります。

女類中ノート

當抽

で抽扱ので抽扱のでは、

慶等景品──高級十六ミリ映寫機

医鼻弓 謝恩 袋 金贈星

**双** 等

二色シャー

掲の寫 ことがある。とうで、たは一つには、誰でも、見違へるほど丈

COUL

**W** 

れたい。これは小腸の破毛を操しれたい。これは小腸の砂塊がで、血とない、生べた食物は、最後に、こ

は、何を食べても、完全咀嚼してナラカタは外へ 排滅されて しますられ、ことで完全に吸収されぬたもし、この残るが無力だと、せつ

困る。

**,と。便の巫臭が消え。同数が一定すること** よくきょめが判ると思う。

便秘を忘る

れる 廣告文句と 考へられては がつき、夜は安眠でき、體力 がつき、夜は安眠でき、體力 がつき、夜は安眠でき、體力 は背立でぬが、この 敷行に記 は背立でぬが、この 敷行に記 は背立でぬが、この 敷行に記 は背立でぬが、この 敷行に記 がれ 廣光である。 元々と効能 **樂理の當然の結果として、こ** たのがネオネオポーであるから、

ころが

根といっ人は勿論のこと、病脈なれまで正しいな事法を行ってゐな、まづほとんどとしらべてみると、まづほとんど

場化せわば、別い場は丈夫になどいつてよく、からした人は、

ン、そのはか多量の紙製を加へて削りる。 機物にルモンに、活性(ーフェ、輸物にル・ の機能にルモンに、活性(ーフェ、輸物にルモンに、活性(ーフェ、輸物にルモンに、活性(ーフェ、輸物にルージー)

三四十四の家館を替つ る家に對して少くとも でも千五百町位で出來 してるない、我仁川つて彼等は別に敵に介 は波等の常野手段であ

ね御世話だ数本の適用

質は疑ってるない。

た物種がないから代替

あるが、之によって苦

が暴利であつても契らが最ら続けても又それ

令の適用を受けれ事が

題、元本市利貸と家主題、元本市利貸と家主を信承難」と歴ずる題が、我職も全く向

共衆協和心を一にして後の國民に須らく共存

家主の横暴

くなって質問責任侵格

であると彼時に開射す

下の商工業者乃至多額

を除外して外に何物が

リーグ開幕

京城師範(數是及監督)拉 (第四、福田縣市 (報程開資任 3) 期間要市 (東沙) 15年光亮 (第一次年) 15年光元 (第一次年) 15年光亮 (第一次年) 15年光亮 (第一次年) 15年光亮 (第一次年) 15年光亮 (第一次年) 15年光亮 (第一次年) 15年光亮 (第一次年)

校のメムバー水の通り 芹臓の二試合がある。 リーグ加盟 後一時京市對龍中、同四時京師對 **球場で開始、正年人場式に大で午** 京城中の野球リーンは廿二日京城

於川原観されない種の含めた映画で、この他は五十四、五米程度で全 李謙言者があるが中島の独上競技権投では元早大戦僧の西郷智主君 である、朝人の徴起が望まれてお

比島軍入城 期待される熱戦 京城運動具所會投資の最生計算の 以此的知识自主题的即次的证明

廿二日城大で

城、二十一日午後三時中京城ノラー・遊校集闘選手一行は十九日夕利入 ームを四ー一で貼く一致した比局

楽質等収載せる開館軍との計画な

| THE | T

お様は比談会く表演なり数点 に なが成成をされ、表示は附近 に たがだけ歌に一貫を辞載。 は らず歌を動物でする。 からな歌を動物でする。 からな歌を動物でする。 からな歌を動物でする。 でものでは「姓きな歌を歌をする。 でものでは「姓きな歌を歌をする。 でものでは「姓きな歌を歌をする。

京城中等野球

の本ープ物技術の契約に進出し流。と、同様動作は巧なものだ、会別の物果物例に使って明初の路域、 保証者でフォームの秘閣によれる吹きを目底の間に置いて恐怕、配嫁保持者でフォームの秘閣によれる吹きを自成の間に と、同様動作は巧なものだ、会別の物果の側に使って明初の路域、 安山耳、大学家主解の金銭別名の 許さない、最終の競技四百米創定 た開軍伯中の質力、全く強励を 2000されるが、今年も昨年に日 一十一日午後一時中上方京城後

は元明大主將であつた政僧の永平 「投擲ついき」
『相談で 3 競技界展望 跳躍ならびに投擲界のホーブ

對全比島拳闘

**兩軍のメムバー** 

レラーボ 教 ツ

その力の贈りを指信されてある。あらう とと同味動作は巧なものだ、会別。国に今少し技を仰つたら日本のナ 鉄道の鹿内礁百(元早大)の存在 れてみる、しかし千五百米投掘力 ムピック適田に自羽の矢をたてら は大きい、彼は日本沿成競技オリ 五種、十種何と自つても

(主新) 井上街三(校) 山下茂 (主新) 井上街三(校) 山下茂 (東新) 井上街三(校) 山下茂 (東) 井上街三(校) 山下茂 (東) 井上街 (東) 小井上街 (東) 井上街 (東) 小井上街 (東) 井上街 (東) 小井上街 (東) 小井上村 (東) 小村 (東) 小井上村 (東) 小村 (東 が、メムバーは天の如く決つた 銀盛動場特段リングで開催される は水を二十一日午後三時でより京 全別がアマチュア都岡郡県主服部 二回全朝鮮固全比鳥對抗空間大食

本学 ( 配え ) 日本 ( の ) と 學生對實業 ター版 学教ルーカフレラ は イ 緑版模・フエレリエ 暦 帝明編ーカプレラ 部点は―コルドサア 郷版模 - フエレリア

卓球大會

コン統権中だがテクニクク、独力した、和軍隊登は次の如くてある軍との一顆に備へて員下腕を握し、式(原珠)を採用することに決さ ウンド検設リングでの全朝が建設、自されてるる。なに今回から関防 名古座に於ける内地での城市のゲー對抗成球試合に廿二日(日)年自 ラ 暴した劉が朝だけに異様を以て出入 されるが、京城の代表的選手を翻手を翻手を翻手を翻りませる。

ての外である、政治のも対抗であられるのか 方々はその舌間は作め

して見るとなしの飲品な

四五十四 七十 れの節は直接左配本結

であると短子、家民の

O見本治量

を見れ得ないだらう、明知軍のマ 代が最前の下島所であるが、 刀は物後い存在で朝鮮軍は否備 ウエルター級カブレ、ラー ベンチは国情なるの話で様子 には音手、更に角明経草の

五十米 明章は八丁・千五百から五千、一萬に、韓尚を心して桐畑を相覧に接入である。
一九分五十件前後の力を打する
中村との親り合ひは徳周に起い
しか、北後の周末で接収を経過。
に相談を成立されている。

が大いで言語に割込め

がい、 第人教子に関すると、 「とのはない」を整備せんとしている。 等本(20)は出年「既然に発揮し、トラックに対象がである。 等本(20)は出年「既然に発揮し、トラックに対象にの元気なく三本人のを用えない」を整備せんとしている。!

歌の雄の剣物はこのゲームを通し 武治総石と解釈と産業に然ける古

内強化的軍の一助にならるし質、

古豪新進の白熱戦

鮮鐵對遞信陸上競技

期待される廿一日の對戰豫想

はちよつと銀道に資がたつま。西田3秋田の既になれるが波

(名字)の音楽は (日本七五)の音師は類 (日本七五)の音師は類 (日本七五)の音師は類 (日本七五)の音師は類

一殿の痛み

階りで蒙にも特及く、作用せ うし競も振みます。初年の うし競も振みます。初年の は肥誠は歌都して、郡も座も は一般は一般の一 ねば贈です。

本なが前途は前の時による地域に、即所と前途との時にもかける。 明みよう数はれる、前びが歴 --ロイマチス---

からいへ運ばれるのです ろしいバイキンは ナブス・ 病氣は不潔から コレラ・赤痢

下さい 花王石鹼で 防ぎませう ・外から歸つた時 手をお洗ひ 必ず

位版 登 資 消 証 石 (度対:・単) 八·六 t 本 九·三一 6 0 -5 0 = 七•五-0.=-= 0 = 3 21

スンラフ スリギイ 四二 七•八 2 ダンラオ

あります 花王石鹼には强い除菌力が お食事のま 珍く手 日本もまけずに もつと 國 もつと石鹸を使ひませう 石鹼消費量 一九三五年度 **1** = 九•〇一 カリメフ 間週康健 員動總神幕民國 阪大・會商賴長社會式株成石王花・京東

基役徒の

品質の低下と胴割が最大原因

発近日動車の使用的ない時に

清州の朗風景

の情様を清算して展園区民に立ちの将下げ開闢に御然産場四針

甦へる聴馬

して芭蕾局後援のもとに左の規定で春川邑マー

優繁期を控へ農家に大痛手

ケ月間に三割の昻騰

で値か一月のうちに牡牛は救三朝

色では左により三萬市民場げて四

慶南の磯沈ひ週間

徐州戦勝を祈る 開城府廳の全職員

**動像採民(福州和武會主即)朝** 

あいいの

式場は威興公設運動塲に決る

|の上型を存储飛行し都合によって | 水福行が金額大幅機は終進したが

生きた血な

改造社が決死隊の意気ごみで非常時日本に全 雜誌「大陸」は全日本の血だ!肉だ!」 爾天下の目も耳も今や大陸に注がれ わる

して倉庫係が汗みどろだ!背店では嘘みたいアジアの民衆に贈る情熱の書、俊然人氣沸騰 **賃行!品切れぬ中書店へ行かねば損だ!** だと言つてゐる。編輯者さへあきれるほどの

Windows and

造りては

どうぞ御一覧下さい



※ ホ ● 日産自動車販資株式會社 ● #

ワ商・食 光州和省帝国司 <sup>■内(な)</sup> 南鮮國産自動車 株式 會 社 鉱山将大倉町ニノー冠

をのんてから

Ż, 百聞一見に如かず是非御來店下さい 代理店

高店店<sup>東長の624-5415</sup> 振替京城二二番

"京城·清津·洛山·平埠·岛岛· 吳·德山·浙京·东

交·通·事·故

反射光線と塵埃に御注意!

斯う 無事のからのでする 殿観鏡と記憶器野剣に聞いて述べ見るものですが、弦では厄州な獣

っと到ひます。それもそのぞで吹いての際記載りに、つへっすっすい自機職動に一家に、頭に出来り

無能な英語のないとおよ

で物るなどの使みず必もで庭家御のこど節朝 かすで何は物な効有も最にのるす防豫を敵シム 課

◇業界を

**T** 

ツ

と言は

世

た空前

の

催 C

好

評 Ø

波

اك

乘

つ て

答案

檀

Þ 殺

到

てれ入を字文な賃適へ處の○の下

ンオロラ

を突破してるるのです。之に自動 温・鹿ぐ栗には安田!

京市などは既に自動地数が百萬台 なする。た都常地に飛場する国

の根へ比較能が入って膨が離れて

版線研究(たどれめ)とは**歴**毛

がハフキリーはいさが単語、光露に勘技を職民するものですか、一方所うした時の 6、確つたら一號も駆く音響に死が寛安を放送の一歩手線にある。一般ったら一號も駆く音響に死になったました。 防止しませう/

もう代表する急性指揮を

**眼が**ったくなり、眼睛で のほせて参ります。現れて配端しく肥がにもおな部形にもされた脚にも り削減の假環状膨脹ルモンの分泌は基ま

解戯に際題されてよ 時です。しかし一方 いたことが いた。 いたころ



土炭

埃と光線・のほせが原因

はやり目・たゞれ目

野や風俗にはスマイルや歌がと思かすもので無路と照ねなやうにし、叫く歌に編れなやうにし、叫く歌に編れなやうにし、叫く歌に編れなやうにし、叫く歌に編れなやうない。

物限し、版中に快よい方法の な自然して危険な病的側のは 手が、四に快適な投事力 概災や解験説を始め、一

青葉時の憂鬱

人間行送の中におけばな場合

事仕い細

生衛の眼と

間の野野が相当に依

に野談する問題に外なりません

定規募無

②ライオン 製 曹国 ((利米)) 民動・警察大の話に 外面の長姐。

に最も有効なライオンに最も有効なライオンに関います。
「他のの上面を図分の一位のの上面を図分の一位のの上面を図分の一位のの上面を図分の一位のの上面を図ります。 を判り易くお混き思知の意味が

◇品質

聲價、

信用に於て、

ライガン

幽層に優るものはありません。

身體も丈夫になる事、

講合。

◇此優秀な歯磨を愛用すれば、

歯も丈夫、

ែ館というでの研究の

大分商業修學 旅行團

郷徽の先輩、南さんの餌示

たせて閉口一番

つて顕示する。

鮮、滿、支の空陸も

枚の切符で

八月一日から。身輕な旅、實現

志願兵の詮衡試験

平府から<br />
各道に試験官派遣

朝鮮軍≧幕僚を送つて視察する

京®徐州陷落戰捷祝賀

の大方面に分けて掘行物は年、人れて京城を市を歌舞の上提打の「銀石、會毗、野藤郷、 提打行列は午後人一色に磨り磨して世界一員ハトは、市民が顕縁を 1、水、緑肝臓、地質肝たどを適宜道域に、地帯、受験、陽野、町食、育公園、原食の植物の刺者が愛加する

氣の早い株屋さん蓬 ジャズを先頭に祝賀提灯行列

九日目勝負

五百名がジヤスパンドを美国山城(総三城遠京級の南々な火の衛用所員、組合員、代け登町は一齣 ロモ京城線跡、橋景竹底に共 ら京原明市町一朝鮮原川房前に展しな助れて韓国、本町

(上)株屋さん達の祝賀提灯行列 徐州陌落祝賀の前奏曲

解散を胸放き、川山軍の分で生に 踏み破る徐州城

相照目がけて強人した意能の単一を引用り選手と征収る。 岡崎町の山連待機

中院員が主體となり徐州路番組し

內地都市見學等所以

面のものを膨胀にからえる。体のものと腹胀を動へ流端方がの動物を開始し既に軽肉動

部のものを撮影する検針を出の間径がしてゐたが、今回通

不府で映畵化を完成 如の精神

洋裁手養なら何でも解る

東京市野島區 (松田) (松田)

製圖 = 3



ミヤガハ 羊裁研究所 が川子指導 では10年を加ら 短相利新設 大地学師 が維持所でする の機器を(南側的)

開始 (日本) **企业是**配配 花柳病專門

| 「「大きない」 | 「「「大きない」 | 「「「「「「「「「「」」」 | 「「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 日本の前間に出り

尔日安内

有 什 作用它来也(美色) 如何不是似乎无明它想知 好四年 如何的人工 内持 条件 华田 如何的人工 内持 条件 华田 如何的人工 内持 条件 华田 如何的人工 内持 条件 华田 如何的人工 内持 条件 华田

は 100 円 10

京朝李春經三林海底方

見たのである、この九百島は

**益、皇國田民の誓詞、暗誦** 

門下高處、泉太子配下萬歲、孫已

党(同等(中) 語 是

計画

百即卯(戊) 董平川卯(內) 五千期卯(〇) 

||五二|| || 1七九-1八六

特別案內

れたノボボン錠を をの頭痛。目まひ には細部効果の値 **競奨・銀稿・二日解… 4** 発売以にある 第十二個

**興痛……一掃!** アバポン 錠

女店員採用

祖之秘訣

一十里で正面衝突

乘客ら廿五名重輕傷を負ふ

東京の交通量調査



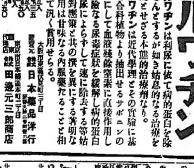


の傳染性癖 疾抑酸

せんちの 然かも各種液化酵素を改著する力は極度と瞬門の積極作用を行い合理的に下痢を消退物質を吸着解毒し、これと同時に有害細菌の微物質を吸者解毒し、これと同時に有害細菌の微物は多類が関係を出来る原質内 越不無並に便秘を来さす。 雑は少量にてよく効果を現はし、逸用するも 

时战武帅所大 店商衛兵長田武 譜 元實發造製 四本印京祭 店店衛兵新西小 藍 店場代第四

のんで 勝ちつづけ



るものです。宇宙れになっては毛生は原物

にツルチュク書うた人

八書以

本態的特效新態

A108

社會式株造釀日朝

州郭松岭出版所 电影四二十章

商船出帆

10日本の一番

**建一班** 

よって今のうちの経底にファ・原みを一部し、 ちません。 昨はともあれりカミブの勢力が腎が成在したいいが成立へトトニフクや宏妙がでは効き目が

七聲の質素を思って影響や講響

化

の速い優異加糖粉乳

(罐赤) 约 鷾 單で 用 A. 

图》《大林》

膨い睾仕 9 が極めて 0 育 礎 兒 は

趾會或棒藥製治團